

**「2050年に向けた日本のエネルギー需給」研究委員会**  
**「温室効果ガス低減に向けた**  
**長期発展戦略の策定のための情報と視点の整理と方法論」**  
**シンポジウムご案内**

本研究委員会は、2017年から2019年の研究発表会、コンファレンスにおける2050年企画セッションなどでの議論を踏まえ、「我が国の温室効果ガス低減に向けた長期発展戦略の策定のための情報整理と議論に併せて、長期的なエネルギー需給の道筋に関する調査・検討を行い、その成果を学会会員、学会外の一般に対し提供する」という目的で2019年から活動を開始し、2019年の研究発表会では研究委員会としての企画セッションを予定しています。

今回案内するシンポジウムでは、これまでの発表などに基づき、我が国の温室効果ガス低減に向けた長期発展戦略の策定のための情報整理と方法論の確立を目標に、情報と視点に関する短い発表とパネルディスカッションを行います。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

〔主催〕 エネルギー・資源学会 研究委員会「2050年に向けた日本のエネルギー需給」  
東京大学 生産技術研究所  
エネルギーシステムインテグレーション(ESI)社会連携研究部門

〔共催〕 東京大学 先端電力エネルギー・環境技術教育研究センター (APET)  
東京大学 エネルギー・資源フロンティアセンター (FRCER)  
東京大学 生産技術研究所 持続型エネルギー・材料統合研究センター

〔テーマ〕 「温室効果ガス低減に向けた長期発展戦略の策定のための情報と視点の整理と方法論」

〔日時〕 2019年8月21日(水) 13:00~17:40

〔場所〕 東京大学生産技術研究所 (駒場リサーチキャンパス内)  
コンベンションホール (An棟 2階)

〔交通〕 京王線駒場東大前駅より徒歩10分

〔定員〕 250名程度

〔スケジュール〕 (登壇者、発表タイトルは当日に向け変わることがあります)

12:30 開場 (受付開始)

13:00 開会挨拶

13:10~15:20 Session 1 需要: モデレータ 萩本 和彦 (東京大学)

岩船由美子 (東京大学)

「2050年長期エネルギー需給見通しにおける民生部門シナリオ」

吉田友紀子 (アール・アイ・エー)

「脱炭素型まちづくりの実践からみた、2050年へ向けた取組」

山崎 政人 (関西ビジネスインフォメーション)

「業務部門 GHGs 排出量の推計と予測」

井上 裕史 (三菱総合研究所) 「産業部門の脱炭素化」

魏 啓為 (RITE)

「旅客交通部門の長期シナリオ分析に向けたエネルギーモデル」

片岡 良介 (豊田中央研究所) 「V2X に関する研究開発・技術開発の動向」

15:20~15:30 休憩

15:30~17:40 Session 2 供給と統合:

モデレータ 黒沢 厚志 (エネルギー総合工学研究所)

外岡 豊 (埼玉大学)

「Paris 協定達成に向けた 2050 年 Zero Emission Scenario 持続可能社会の具体像」

杉山 昌広 (東京大学)

「長期エネルギー政策のためのエビデンスのあり方」

加藤 悦史 (エネルギー総合工学研究所) 「低炭素エネルギー需給システム」

松尾 雄司 (日本エネルギー経済研究所)

「再生可能エネルギー大量導入時の電力部門の経済性評価」

大竹 秀明 (AIST) 「気候予測データの太陽光・風力発電の資源量予測への活用」

萩本 和彦 (東京大学) 「電力システムの変容と大規模貯蔵の必要性」

18:00~19:30 意見交換会 An棟 1階レストラン「ape アーペ」

〔シンポジウム参加費(消費税込)〕 1,000 円 (当日、受付にてお支払いください。)

学生は無料とします。

〔意見交換会参加費(消費税込)〕 4,000 円 (当日、受付にてお支払いください。)

〔申込方法〕 以下の ESI のホームページからお申し込みください (要事前登録)。

<http://www.esisyab.iis.u-tokyo.ac.jp/symposium/20190821/sympo20190821.html>

※申込締切 定員に達した時点、または、2019年8月19日(月)

〔問合せ先〕 \* 開催内容: 一般社団法人エネルギー・資源学会 事務局

TEL 06-6446-0537 FAX 06-6446-0559 E-mail: gyoji@jser.gr.jp

\* 登録後のキャンセル連絡、その他事務的連絡:

東京大学 生産技術研究所 ESI 社会連携研究部門事務局

TEL 03-5452-6714 FAX: 03-5452-6715 E-mail: esi@iis.u-tokyo.ac.jp